

# レスピマツ 各部位の名称

マウスピース  
(吸入口)

通気孔

噴霧ボタン

安全止め

透明ケース

キャップ

目盛り

カートリッジ



(写真はスピオルト)



・目盛りはおおよその残りの噴霧回数を示す。ロックがかかり、透明ケースを回転させることができなくなると、それ以上は使用できない。  
・使用開始日を記載しておくとい。



装着後



(回転くん)

# レスピマツ 初回準備動作

カートリッジ装着

- キャップを閉じた状態で、安全止めを押しながら、透明ケースをはずす
- カートリッジをしっかり奥までまっすぐ挿入する (力が足りず手で挿入できない方は固い平面で挿入すると奥まで挿入しやすい 図A)
- はずしておいた透明ケースを装着する

初回のみ  
の操作

・カートリッジを挿入前に透明ケースを回転させると、奥まで挿入できないので注意

・カートリッジを挿入後3ヶ月は安定性が確認されているため、60噴霧製剤で1回2吸入であれば一度に3本まで装着できる。

初回準備噴霧

- キャップを閉じた状態で上向きにし、透明のケースがカチッと音がするまで右に180度回す(図B)
- キャップを完全に開ける
- 吸入口を下に向け噴霧ボタンを押し、ミスト(霧)が見えるのを確認する
- キャップを閉じる
- ミストが見えるのを確認してから、さらに3回繰り返す。(合計4回)

初回のみ  
の操作

・初回のみ必要な操作。毎回行わないように注意。

・確実に挿入しないと噴霧異常の原因になる

・初回準備噴霧は吸入可能回数に含まれていない。テスト噴霧4回の後、60吸入製剤は62噴霧が可能。

・抗コリン薬であり副作用防止のためのミストが目に入らないように下に向ける

図A

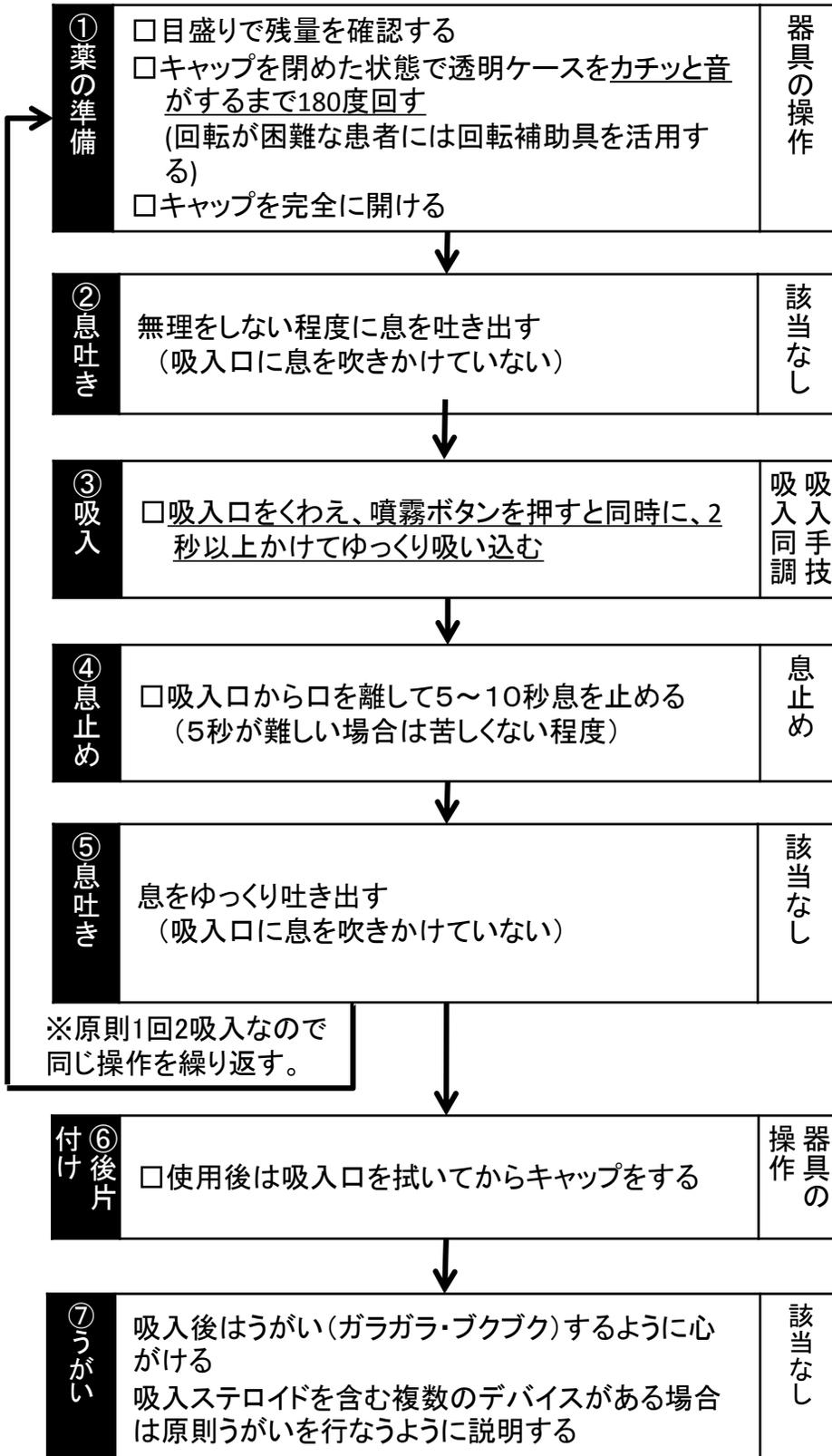


図B



# レスピマットの吸入チェックリスト (商品名:スピリーバ、スピオルト)

※少なくとも週1回はマウスピースと金属部分を湿らせた布またはティッシュペーパーで拭く



・通気孔を塞がないようにする  
 ・噴霧と吸気が同調できることを確認  
 (噴霧は約1.5秒)  
 ・勢いよく吸いすぎるとむせる

・肺内への薬剤の沈着率を高めるため、息止めが必要です。